



ウィツキル通信

Hypochlorous Acid Water NEWS Vol.5

インフルエンザが大流行

こんにちは。ウィツキル通信編集部Mです。昨年未仕事納めをして、さあお休みだ！と喜んでいた矢先、十二月三十日に十二歳の長男がインフルエンザA型を発症してしまいました。せつかくのお休みで帰省も予定しておりましたがあきらめ、家でこもっております。長男は別室で隔離していましたが、「せめて二〇一七年最後の日くらいは家族で賑やかに年越しをしたい」と思い、リビングでウィツキルを噴霧して、家族みんなで紅白歌合戦を観て過ごしました。幸い家族に感染することもなく、その後は家族全員元気です。「ウィツキルありがとう」と改めて思った二〇一八年の始まりでした。

その後もインフルエンザの猛威はとまらず、この記事を書いている一月現在はA型もB型もどちらも流行しております。また、「隠れインフルエンザ」という、熱が三十八度以下のインフルエンザも話題となっております。気づかず行動していて、人に感染させてしまっているというケースもあるようです。そうなるのは、予防するしかありません。自分の身は自分で守らないといけませんので、ウィツキルを利用していただきたいと思います。

またお休み中、旧友と会う機会もございました。八歳と一歳半のお子さんを持つママさんです。八歳のお子さんがインフルエンザA

型にかかり、一歳半の下のお子さんに予防のためにマスクをつけさせたいが、嫌がつけてくれないという話を聞きました。感染症予防にはまずマスクが最優先ですが、小さなお子さんにはそうはいかないのだと気づかされました。そんなご家庭にも、ウィツキルはお役に立てるのではないかと思います。二〇一八年は、ますますウィツキルの活躍の場を広げていきたいと考えております。



万立のあゆみ

二〇一八年の第一号ということで、改めて私ども「万立」についてご紹介させていただきます。弊社が昭和三十八年の創業以来、床用のワックスの開発製造を行い数々の商品を生み出し、学校や商業施設等様々な場所で使用していただいております。また、オリジナルの水拭き用モップ等の用具も開発し、今でも根強い人気をいただくとともに、床や壁の清掃のプロフェッショナルとして成

長してまいりました。

そういった二次元のキレイから、近年ではさらに三次元（空間）のキレイに目を向け、ウイルスや菌に強い、次亜塩素酸水の開発に成功し、自社独自の製法で製造しております。それが、「ウィツキル」です。

ところで、この「ウィツキル」という名前はどこから来ているのでしょうか？創業五十年を迎えた平成二十六年、社内で商品名の募集を行ったところ、たくさんの応募がありその中から選ばれたものです。応募した者の話によりますと、「Virus(ウイルス)」を「Kill(殺す)」で「ウィツキル」だとのこと。なんとも斬新な付けかたですね。昨年の大阪勧業展では上のようなポスターを作成し注目を集めました。

弊社の次亜塩素酸水は、濃度低下しにくく不純物が極めて少ないのが特徴です。それにより、半年間の濃度保証を実現することができました。弊社が自信を持っておすすめする次亜塩素酸水「ウィツキル」を、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ウィツキル通信に関するお問い合わせ、感想または取り上げて欲しいテーマ等ございましたら、ご遠慮なく上記アドレスに「」ご連絡下さい。

編集部一同心よりお待ちしております。